

## 個人商店

使用者委員 上野総一郎

丸2年を越える新型コロナが続くなか、休みに家の周りをあてどなく歩くことが増えた。歩きながら、ここは〇〇ちゃん家（ゲエ）と過去へと戻って行く。

市電上町線が在った頃、通りに沿って、卵屋さん、牛乳屋さん、貸本屋さん、駄菓子屋さん、小鳥屋さん、文具屋さんに万屋さん等の商店街が在った。それが市電の消滅と相前後してコンビニと弁当さんとコインパーキングの無味乾燥な街並みへと変わった。

それが昨今変わってきた。SNSの普及が後押ししているのであろう、パン屋さん、和菓子屋さん、洋菓子屋さん、コーヒースタンド、飲食店が立ち結構な賑わいである。そして店頭で女性たちの姿が目立つ。

この30年余り、幾度かの経済危機と災害を経て、私たち企業は新しい富を提供できなくなっている。イノベーションは確実に進んだが、勝者はG A F AやB A T Hと云われる海外の企業たちであった。

成長期に企業化が進んだ後、低成長が続くなかで個人や家族にチャンスや幸福を見出す人たちが出ているとの印象を持つ。

巷カーボン・ニュートラルとかまびすしい。「空港に日に20人しかお客さんが居ない。」との昔人の嘆きを励みに企業の存在意義を披露する日を期したい。